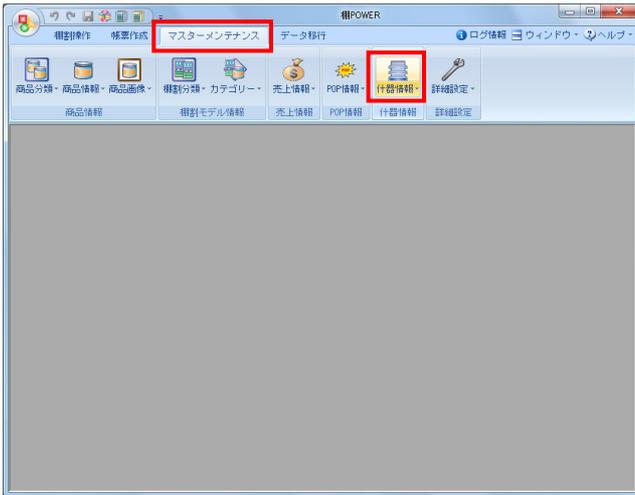
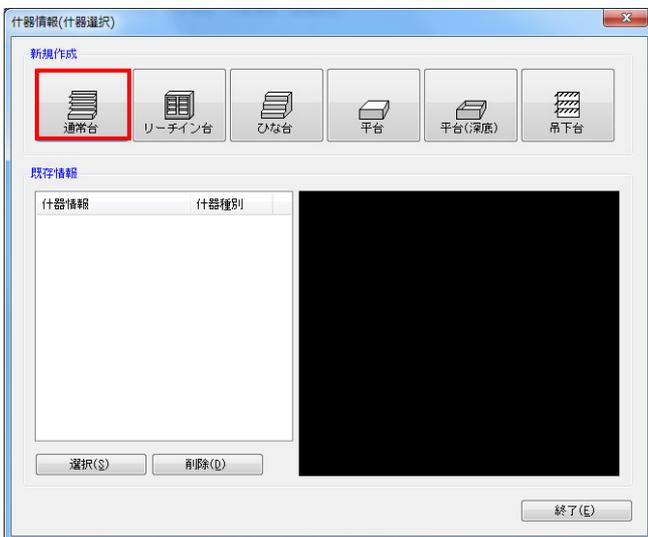


什器情報の登録



1. 什器情報の登録を行ないます。
専用什器や特殊什器などを什器情報へ登録しておくことで、棚割編集時に設定する手間を省略することができます。

[マスターメンテナンス] - [什器情報] をクリックします。



2. 什器選択画面が表示します。
画面上部にある什器一覧より、什器の種類を選択します。

各什器の詳細は下記の通りです。

【通常台】

一般的な1段目に袴があるタイプの什器。

【リーチイン台】

通常台に扉を付けた什器。
冷蔵用の什器として使用します。

【ひな台】

商品を階段状に陳列する什器。
ひな壇陳列を再現する場合に使用します。

【平台】

棚板がなく、台の上に商品を置くタイプの什器。
島陳列を再現する場合に活用します。

【平台(深底)】

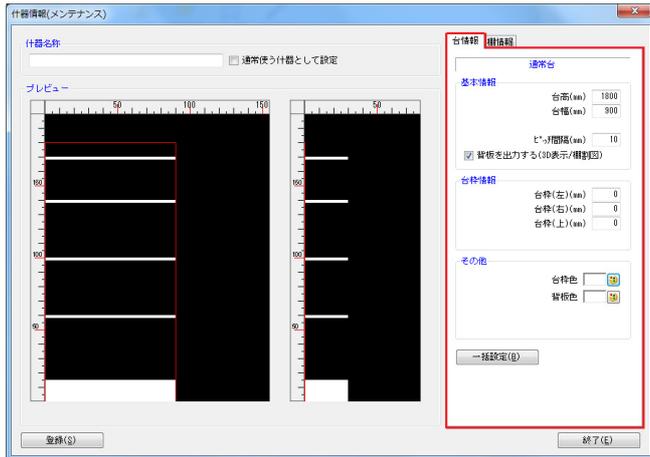
棚板がなく、台の中に商品を納めるタイプの什器。
主に冷凍食品を陳列する冷蔵ケースを再現する場合に活用します。

【吊下台】

1段目に袴がないタイプの什器

「通常台」の登録方法を確認します。

[通常台] をクリックします。



3. 仕器情報のメンテナンス画面が表示されます。
画面左側には仕器のプレビュー画面が表示されます。

プレビューよりマウス操作で仕器を編集することが可能です。

例えば、台幅を変更したい場合、台の右端にある赤線にマウスカーソルを合わせるとアイコンの形状(左右の矢印)が変化します。

形状の変化を確認後にクリックします。
変更したい位置で再度クリックすると台幅の変更が完了します。同じ手順で台高や棚高の変更も可能です。

4. 詳細設定画面右には台の高さや幅が数値で表示されます。
この数値を変更して仕器のサイズを変更することもできます。

[台情報]では、台全体のデータが表示されます。
台幅を変更する場合、「台幅」の項目に数値を入力します。

入力後にEnterキーを押すとプレビューに反映されます。

【基本情報】

・台高

台の高さを数値入力して変更します。

・台幅

台の幅を数値入力して変更します。

・ピッチ間隔

棚を移動する間隔の基準値を入力します。

・背板を出力する(3D表示/棚割図)

チェックを入れると3D表示や棚割図を出力する場合に背板を含めて出力されます。

【台枠情報】

台枠がある仕器を再現する際に、数値を入力して台枠の厚さを設定します。

【その他】

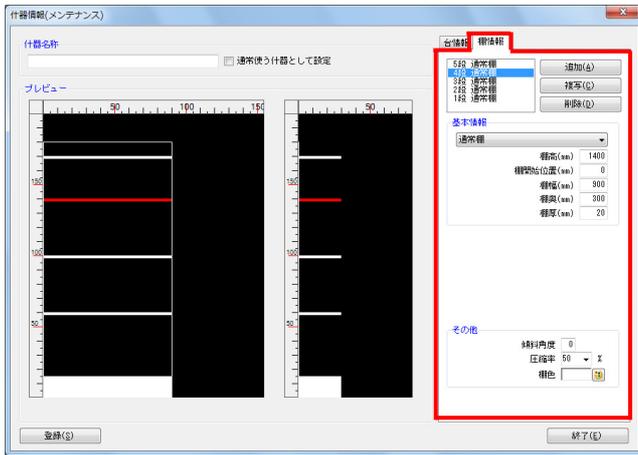
台枠や背板の色を決定します。
色設定ボタンより色の選択が可能です。



5. 画面下にある[一括設定]から、段間隔均等や奥行の統一、棚色の指定などを一括処理することも可能です。

例えば、段の間隔を均等にする場合は一括設定の段間隔均等で[一括設定]をクリックします。
一括設定実行後、各段の高さが均等になります。

「最上段を台高に合わせる」を有効にしている場合は、最上段の棚高を、台高に合わせた上で各段の棚高を均等にします。



6. [棚情報] では各段の棚高や棚幅が表示されます。

編集したい棚(段)を選択します。
棚高を変更する場合は、「棚高」の項目に数値を入力します。

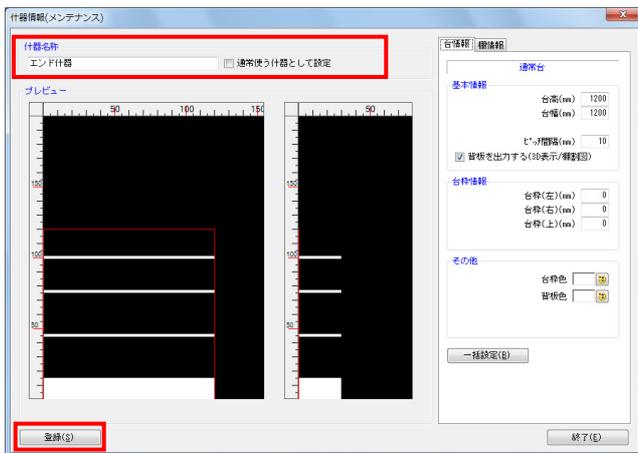
【基本情報】

「棚高」「棚開始位置」「棚幅」「棚奥」「棚厚」の項目に数値を入力します。数値入力後にEnterキーを押下するとプレビューに反映します。

【その他】

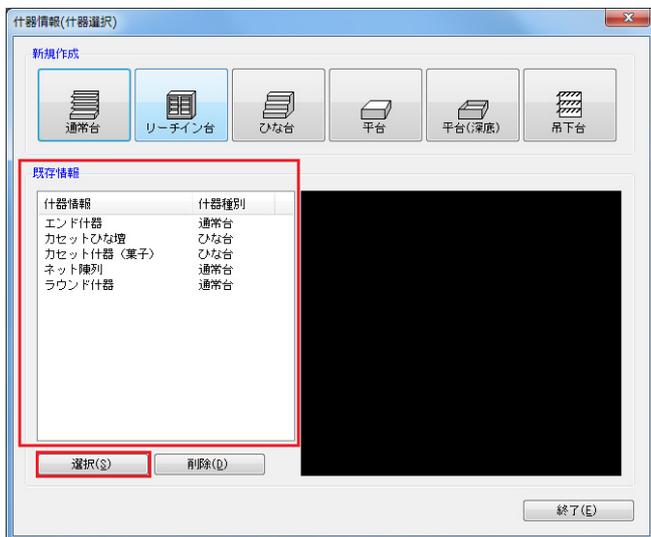
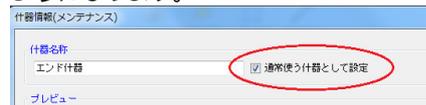
「傾斜角度」「圧縮率」「棚色」の設定を行いません。

下段から1段目としてカウントします。
傾斜角度は3D表示で確認できます。
圧縮率は押し込み陳列を再現する場合に設定します。



7. 設定した仕器を登録します。
画面上部にある「仕器名称」に仕器の名称を入力して、[登録] をクリックします。

「通常使う仕器として設定」を有効にして登録した場合、基本仕器を選択するだけで登録した仕器を配置できるようになります。



8. 登録すると仕器選択画面の「既存情報」に登録した仕器の一覧が表示されます。

仕器マスターに登録した仕器を挿入する場合は「既存情報」より挿入する仕器をクリックして選択し、[選択] をクリックします。

9. 以上で「マスターメンテナンス編」は終了です。